

オープンラック式LNG気化装置

OPEN RACK
VAPORIZER (ORV)

概要

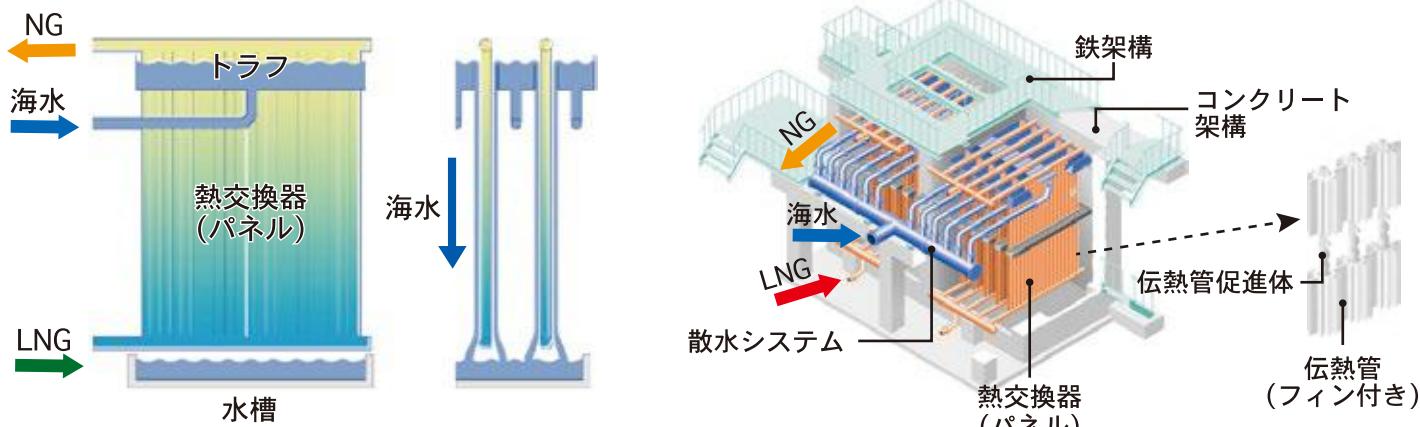
オープンラック式LNG気化装置は、多数の伝熱管(スターフィンチューブ)を並べたパネルの外面に海水を流すことにより、内部のLNGを気化させる方式です。

外部熱源として海水を使用するため運転経費が経済的で、また構造が簡単なので、運転監視や保守点検が容易であることなど、この種の気化装置のなかでも卓越した信頼性と安全性を有しています。

これらの特徴により、オープンラック式LNG気化装置はベースロード用として使用されており、世界のLNG気化装置の主流です。



主要構造



特長

HiPerV
(ORVの最適設計)

LNG気化装置では、多成分系LNGの蒸発、海水の氷結による伝熱阻害などの複雑な伝熱現象。最新型HiPerVの伝熱管は、伝熱管大型化と、伝熱管と伝熱促進体の形状の最適化により、着氷による伝熱阻害を抑制し、気化性能が飛躍的に向上。

経済性

外部熱源に海水を利用しているのでランニングコストが低く経済的。
HiPerVの最適設計により、使用海水流量は削減可能。

信頼性

パネルには低温強度に優れたアルミ合金を採用し、表面には海水による腐食を防止する犠牲陽極として、アルミ・亜鉛合金のクラッドまたは溶射を実施。
クラッド伝熱管の場合、犠牲陽極材の長寿命化とメンテナンスコスト削減が期待できる。

運転性能

急速起動・停止、需要の変動に応じた任意の負荷での運転が可能。
気化器とLNG入口配管の接続部に、異種金属爆着継手を使用することで、急激な温度変化による漏洩の心配がなくなり、運用性・安全性が向上している。

設備能力の選択

分割したパネルから成っているため、使用条件(LNG流量、海水流量・温度)に応じて、チューブ本数・パネル枚数を選択した設計が可能。

住友精密工業株式会社
熱交換器営業部

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル4階

03-3217-2812
ホームページはこちら → www.spp.co.jp/netsu/

FAX 03-3217-2822 E-mail netu-sales@spp.co.jp